

理科キッチン

明日のレシピ

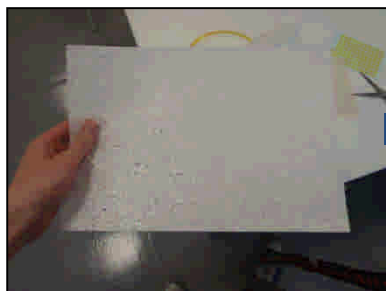


飛ぶものを作ろう！！

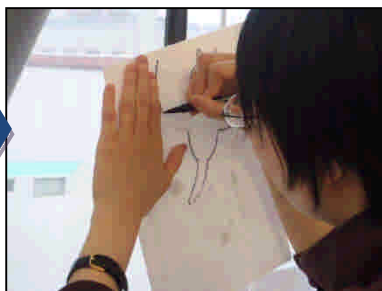
準備する物

発泡スチロールペーパー (フジカットオンライン「<http://fujicut.co.jp/index.htm>」から100枚2400円で買うことができる)、マジックペン、はさみ、シール、絵が描かれた型紙

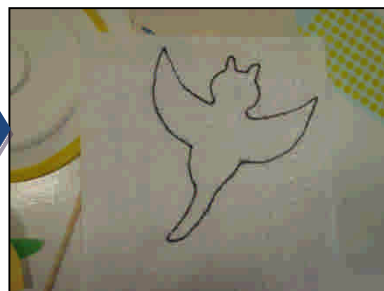
飛ぶものを作ってみよう



▲①発泡スチロールペーパーの厚さは1mm以下です。発泡スチロールカッターでできるだけスチロールを薄くスライスすることができます。



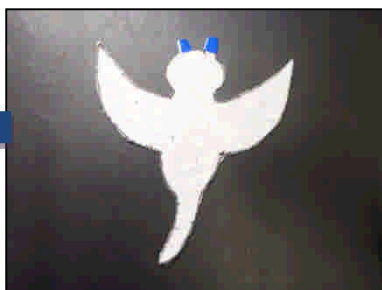
▲②絵が描かれた型紙を発泡スチロールペーパーにマジックペンで写しましょう。その際、窓にあててやると写しやすいです。



▲③図の形はクリオネです。この形以外にもいろいろと作ってみましょう。



▲⑥いろいろな形でも飛ぶことができます。おもりの位置が重要！



▲⑤上部にシールを貼ります。これがおもりの役目をします。



▲④はさみを使って切りとりましょう。

飛ばしてみよう！！

高い位置から発泡スチロールペーパーを空気にのせる感じで手をはなしましょう。もし、きれいに飛ばない場合はおもりのシールを増やしてみましよう。また、重すぎて直ぐに落ちてしまう場合はシールを減らしましょう。

発泡スチロールペーパーではアルソミトラの種のモデルも作ることができます。なぜ、種がこのように飛んでいくのか考えてみましょう。

これを応用した「ふしぎヒコーキ」が中標津町在住の飯島実さんによって考えだされています。いかに社から出ている飯島実著の「kids工作BOOK やさしい紙ヒコーキ」(2011)を是非参考にしてください。



▲ゆっくりとふわふわしながら滑空して飛ぶスチロールペーパー。